

瀬戸内町立諸鈍小・中学校 ～ 諸鈍シバヤ傳承活動の取組～



奄美大島の南，加計呂麻島の諸鈍集落に伝わる諸鈍シバヤは，源平の戦いに敗れて落ちのびて来た平資盛一行が，土地の人々と交流を深めるために伝えたのが始まりと傳承されている。旧暦9月9日に諸鈍集落の大屯神社で披露されてきた。

出演者は全員男性のみで構成され，手製のカビデイラという紙面と，陣笠風の笠をかぶり，囃子と三味線の伴奏にのって演じる。かつて20種余りあったという演目は，即興的狂言，人形劇を含めて現在では11演目が受け継がれている。小中学生もかつては，諸鈍集落の児童生徒のみが参加していたが，現在では諸鈍集落以外の児童生徒も参加している。

毎年，シバヤ保存会の方に指導を受けて，諸鈍シバヤの歴史を学び，踊りの練習を行う等，伝統芸能の繼承に取り組んでいる。